

第十九号様式（第四条、第四条の四の二関係）(A4)

完了検査申請書
(第一面)

工事を完了しましたので、建築基準法第7条第1項又は第7条の2第1項（これらの規定を同法第87条の2又は第88条第1項若しくは第2項において準用する場合を含む。）の規定により、検査を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

ハウスプラス住宅保証株式会社 殿

申請時記入して下さい→ 平成 年 月 日

申請者氏名 印

建築主、設置者又は築造主が2以上のときは、1欄は代表となる建築主を記入し、別紙に他の建築主他についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。

第四面に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者氏名 印

(監理者に変更がありましたら、資格者証の写しを添付して下さい)

〔検査を申請する建築物等〕 該当するチェックボックスに「レ」マークを入れて下さい
昇降機及び工作物は別願です

- ☐建築物
- ☐建築物（昇降機）
- ☐建築物（昇降機以外）
- ☐工作物（昇降機）
- ☐工作物（法第88条第1項）
- ☐工作物（法第88条第2項）

表には記入しないで下さい

※受付欄	※検査の特例欄	※検査欄	※決裁欄	※合格欄
平成 年 月 日		(予定日) 平成 年 月 日		平成 年 月 日
第 号		(実施日) 平成 年 月 日		第 号
係員印		係員印		係員印

(第二面)

無記入の項目はそのまま、削除しないで下さい

建築主、設置者又は築造主等の概要

〔1.建築主、設置者又は築造主〕

〔イ.氏名のフリガナ〕

〔ロ.氏 名〕

〔ハ.郵便番号〕

〔ニ.住 所〕

〔ホ.電話番号〕

〔2.代理人〕

委任状を添付して下さい

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号

〔ロ.氏 名〕

〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔3.設計者〕

(代表となる設計者)

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号

〔ロ.氏 名〕

〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.作成した設計図書〕 意匠図、構造図、全般等と記入して下さい

(その他の設計者)

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号

〔ロ.氏 名〕

〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.作成した設計図書〕 同上

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号

〔ロ.氏 名〕

〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.作成した設計図書〕 同上

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号

〔ロ.氏 名〕

〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.作成した設計図書〕 同上

〔4.工事監理者〕

(代表となる工事監理者)

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号
 〔ロ.氏 名〕
 〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.工事と照合する設計図書〕 意匠図、構造図、全般等と記入して下さい

(その他の工事監理者)

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号
 〔ロ.氏 名〕
 〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.工事と照合する設計図書〕 同上

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号
 〔ロ.氏 名〕
 〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.工事と照合する設計図書〕 同上

〔イ.資 格〕 () 建築士 () 登録第 号
 〔ロ.氏 名〕
 〔ハ.建築士事務所名〕 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

〔ニ.郵便番号〕

〔ホ.所 在 地〕

〔ハ.電話番号〕

〔ト.工事と照合する設計図書〕 同上

〔5.建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者〕

(代表となる建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

〔イ.氏 名〕

〔ロ.勤 務 先〕

〔ハ.郵便番号〕

〔ニ.所 在 地〕

〔ホ.電話番号〕

〔ハ.意見を聴いた設計図書〕 同上

(その他の建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

〔イ.氏 名〕

〔ロ.勤 務 先〕

〔ハ.郵便番号〕

〔ニ.所 在 地〕

〔ホ.電話番号〕

〔ハ.登録番号〕

〔ト.意見を聴いた設計図書〕 同上

〔イ.氏 名〕

〔ロ.勤 務 先〕

〔ハ.郵便番号〕

〔ニ.所 在 地〕

〔ホ.電話番号〕

〔ヘ.登録番号〕

〔ト.意見を聴いた設計図書〕 意匠図、構造図、全般等と記入して下さい

〔イ.氏 名〕

〔ロ.勤 務 先〕

〔ハ.郵便番号〕

〔ニ.所 在 地〕

〔ホ.電話番号〕

〔ヘ.登録番号〕

〔ト.意見を聴いた設計図書〕 同上

〔6.工事施工者〕

〔イ.氏 名〕

〔ロ.営業所名〕 建設業の許可（ ） 第 号

〔ハ.郵便番号〕

〔ニ.所 在 地〕

〔ホ.電話番号〕

工事施工者が2以上のときは、代表となる工事施工者について記入し、別紙に他の工事施工者について棟別にそれぞれ必要な事項を記入して添えてください

〔7.備 考〕

建築物又は工作物の名称又は工事名（新旧）を記入してください

本工事名が検査合格証の工事名となります

(第三面)

申請する工事の概要

〔1.建築場所、設置場所又は築造場所〕

〔イ.地名地番〕

〔ロ.住居表示〕

〔2.工事種別〕

〔イ.建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物の区分〕 第 号

〔ロ.工事種別〕 ☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 →該当するチェックボックスに「レ」マークを入れて下さい☐大規模の修繕 ☐大規模の模様替 ☐建築設備の設置

〔ハ.建築基準法第68条の20第2項の検査の特例に係る認証番号〕

〔3.確認済証番号〕 第 号 →直前の計画変更の確認の番号を記入して下さい

〔4.確認済証交付年月日〕 平成 年 月 日 →同上交付日を記入して下さい

〔5.確認済証交付者〕

ハウスプラス住宅保証株式会社と記入して下さい

〔6.工事着手年月日〕 平成 年 月 日

〔7.工事完了年月日〕 平成 年 月 日 →検査直前に記入して下さい

〔8.検査対象床面積〕 →最終の延床面積を記入して下さい

〔9.検査経過〕 (第 回) (第 回)

受けた検査は全て記入して下さい。記入欄が不足する場合には、別紙に必要な事項を記入して添えてください

〔イ.特定工程〕 () ()

〔ロ.中間検査合格証交付者〕 () ()

〔ハ.中間検査合格証番号〕 () ()

〔ニ.交付年月日〕 (平成 年 月 日) (平成 年 月 日)

〔10.確認以降の軽微な変更の概要〕

軽微な設計変更が2以上あるときは、その一について記入し、別紙にその他の軽微な設計変更について、必要な事項を記入して添えてください

〔イ.変更された設計図書の種類〕

〔ロ.変更の概要〕 変更の内容、変更の理由等の概要を記入してください

〔11.備考〕

あらかじめの検討の確定内容を記載して下さい

(第四面)

工事監理の状況

施工されている部分のみ記入して下さい

	確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果（不適の場合には建築主に対して行った報告の内容）
敷地の形状、高さ、衛生及び安全						
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（複合材料を含む。）の種類、品質、形状及び寸法						
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等						
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ						
構造耐力上主要な部分の防錆、防腐及び防蟻措置及び状況（鉄骨工事の場合）						
居室の内装の仕上に用いる建築材料の種類及び当該建築材料を用いる部分の面積						
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上の材料の種別及び厚さ						
開口部に設ける建具の種類及び大きさ						
建築設備に用いる材料の種類並びにその照合した内容、構造及び施行状況（区画貫通部の処理状況を含む）						
備考	主だった部屋別の感知器を記入して下さい 例）煙感知器：寝室、リビング、管理人室 熱感知器：台所					